



彼杵中学校
校長 川内康範

1学期、大変お世話になりました。

「ご支援ありがとうございます。」

夏休みのキーワードは「主体性」

今年度がスタートして4か月、保護者の皆様は子どもたちの成長の様子をどのようにご覧になつていらっしゃるでしょうか。明日学校からは通知表をお渡しします。通知表を見ながら、1学期に頑張ったこと、成長したことなどを話す時間を作ってください。

また、夏休みは今までとは違う様々な学びができる時です。よく聞く言葉ですが、「主体的」や「主体性」という言葉があります。子どもたちには、朝起きるとき、食事のとき、手伝い、勉強、部活動など生活全般にわたって、誰かにやらされるのではなく、「主体的に」「主体性をもって」取り組むよう努力してほしいと思います。夏休みの生活をこの言葉を意識して生活すれば、中学生の皆さんは、また一歩たくましく成長できるはずです。

次のような調査があります。

彼杵中の学校風土とは？

そして、皆さんのご家庭の環境は？

ちよっと堅苦しいのですが、「平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関

する調査研究」(お茶の水女子大)というのがあり、その結果をいくつか紹介します。

○学校風土と子供の学力

学校風土得点の向上は、学力向上にプラスに作用する。

【学校風土とは】

- ・熱意をもって勉強している。
- ・授業中の私語が少なく、落ち着いている。
- ・礼儀正しい。

・学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている。

・学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができている。

○家庭環境と子供の学力

以下の場合に、子供の学力が高い傾向がある。

〈保護者の働きかけ〉

- ・学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域や社会の出来事やニュース等、会話が多い。
 - ・テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。
 - ・子供の努力することの大切さを伝えている。
 - ・子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えていく。
- 〈保護者の教育意識や諸活動への参加〉
- ・将来、子供に留学をしてほしいと思っている。
 - ・自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
 - ・地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。
 - ・保護者自身がPTA活動や保護者会などへ参加している。

ここでいわれている学力とは昨年4月に行われた中学3年生を対象とした国語・数学のテストの得点のことです。もちろんテストの点数で人の価値が決まるわけではありません。子どもの頃テストが苦手でも、大人になって社会で活躍している人や尊敬すべき人はたくさんいらっしゃいます。だからといって、学力はどうでもいいと考えてしまうのはやや短絡的過ぎるようです。学校だより第2号でも書きましたが、「子どもたちにつけてほしい力は何だろうか」と私たち大人はいつも考えておくことが大切だと思います。また、左の図のような力は中学生が習得すべき「生きる力」だと言われていますが、大人の私たちであっても大切な力だと思えます。



(文部科学省ホームページより)

まずは健康第一です。
熱中症にならないように
交通事故にも気を付けて